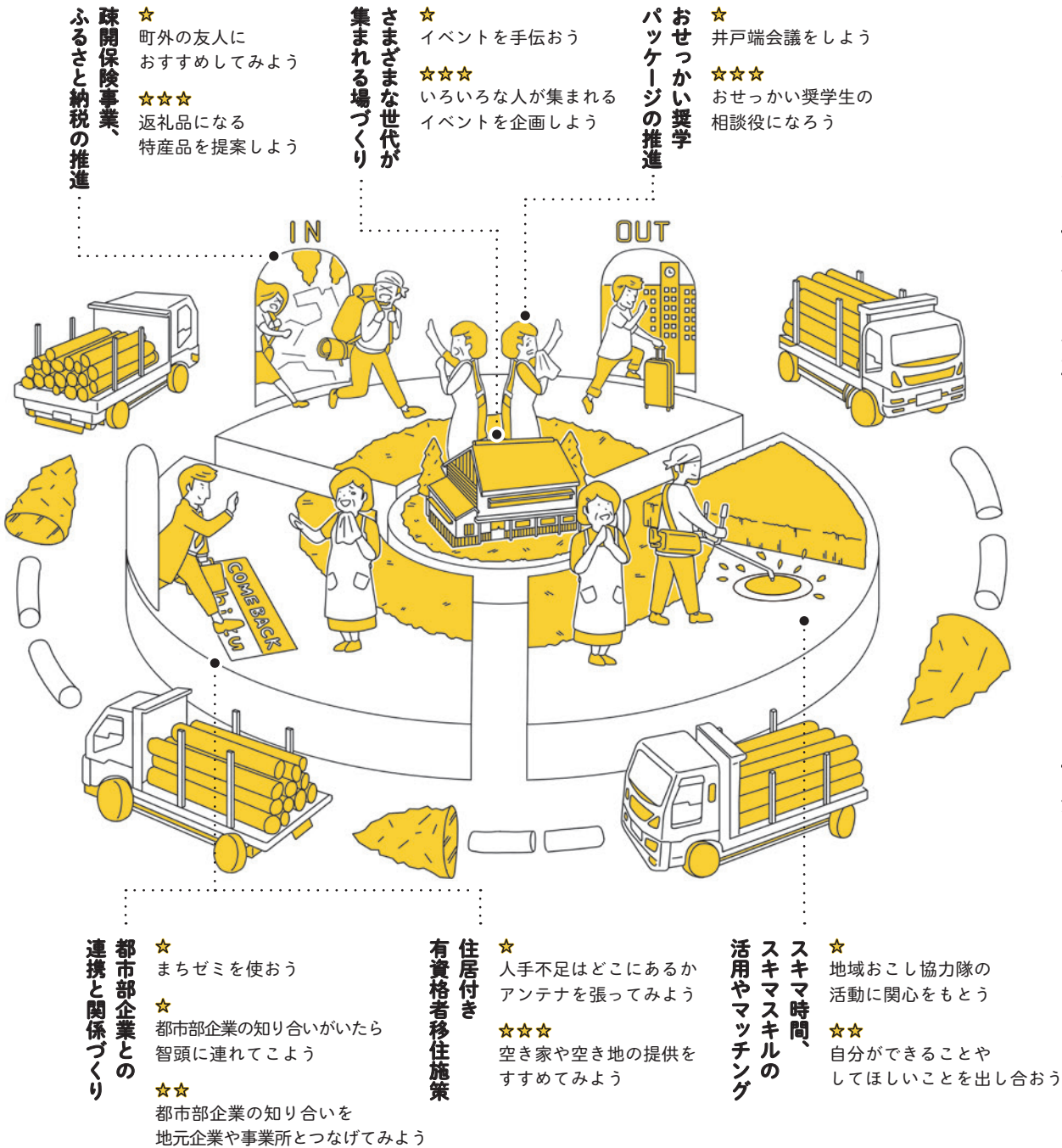


4

つながる人財・仕事づくり

人や仕事の垣根をとり、つながりやすい仕組みをつくる



- ★ 井戸端会議をしよう
- ★★★ おせっかい奨学生の相談役になろう

おせっかい奨学パッケージの推進

- ★ イベントを手伝おう
- ★★★ いろいろな人が集まれるイベントを企画しよう

さまざまな世代が集まれる場づくり

- ★ 町外の友人に おすすめしてみよう
- ★★★ 返礼品になる特産品を提案しよう

疎開保険事業、ふるさと納税の推進

- ★ 地域おこし協力の活動に関心をもとう
- ★★★ 自分ができることやしてほしいことを出し合おう

スキマ時間、スキマスキルの活用やマッチング

- ★ 人手不足はどこにあるかアンテナを張ってみよう
- ★★★ 空き家や空き地の提供をすすめてみよう

住居付き有資格者移住施策

- ★ まちゼミを使おう
- ★ 都市部企業の知り合いがいたら智頭に連れてこよう
- ★★ 都市部企業の知り合いを地元企業や事業所とつなげてみよう

都市部企業との連携と関係づくり

一昔前までは、林業、農業を生業としていました。近代化により、会社で勤める人が増えました。村で生活をするために人がつながり、支える仕組みも高齢化により難しい状況になってきました。智頭で暮らすことは人とつながることなくしては考えられません。人とのつながり、自然とのつながり。人口が減っても人情味のある人が減らないまちを目指したい。

2025年の智頭町では、「おせっかい」という言葉の定義は、「出しゃばって周りの人の世話を焼く」から「共に寄り添って周りの人を幸せに」へと変わっています。

そんな町には、たくさんの人が関心を持ち、訪れます。そこから新しい仕事生まれ、田舎の魅力が世界に発信されていきます。

KPI 2024年までの目標数値 > 雇用の創出 10人 | 疎開保険加入者数 200人 | おせっかい奨学パッケージ寄付額 500万円 | 移住者数(有資格者移住施策と仕事づくり) 5人